



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えなさい。

解答例

2021年11月28日朝刊中部版

海洋関連の研究推進と技術開発を目指す産官学連携組織「市海洋産業クラスター協議会」の次世代人材育成プログラムの一環。今回の調査などを通して、新たな海洋産業として市場拡大が期待される水中ドローンの活用方法を、幅広い視点で模索する。

生徒は堀の水深や底の凹凸を調べて水底マップの作成を目指すチームと、水や土を採取して生息する生物を調べるチームに分かれて活動する。

それぞれの課題達成に向けて、水中ドローンの改良と実地調査を繰り返し、2022年1月29日に行われる発表会で成果を披露する予定。

初日のフィールド調査では、使い慣れない水中ドローンの扱いに悪戦苦闘し、「プロペラに泥や落ち葉が絡まってうまく動かせない」と「悲鳴も。生徒たちは四つんばいになりながら、水面に手を伸ばして懸命にドローンを水中に押し込み、操縦を試みた。

静岡聖光学院中・高生

静岡市駿河区の静岡聖光学院中・高の生徒が27日、水中ドローンを使った駿府城の堀のフィールド調査を開始した。自然科学部の中1・高1生の8人が地上からの観測では分からない堀の底の形状や生息する生物を調べる。

お堀の中は一体どんな？

①記事では、「水中ドローン」を使って駿府城の堀の何を調べようとしているのか。

(例)堀の水深や底の凹凸を調べる(調べて水底マップを作成する)。

(例)水や土を採取して生息する生物を調べる。

駿府城 水中ドローンで調査

生物調査チームの桜井優羽さん(15)は「水中のサンプルをしっかりと回収することが目標の一つ。採取できたら専門



お堀の調査のため水中ドローンを投入する生徒
静岡市駿河区

②この調査では、「水中ドローン」の使用にどんな課題が見られたか。

(例)使い慣れないドローンの扱いに悪戦苦闘した。
水中ドローンのプロペラに泥や落ち葉が絡まってうまく動かせない。 など

③「水中ドローン」は今後どのように活用されると考えるか。あなたの考えを30字以内で書きなさい(句読点を含む)。

(例)新たな海洋産業としての活用が期待され、市場が拡大するだろう。(30字)
海洋資源の把握や生物の調査など、幅広い活用が期待される。(28字)
人が潜れない環境下での写真・動画の撮影や調査に活用できる。(29字) など

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校～高校/社会、理科、総合)